



は っ と り 服部のりふみ



後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

本年度は、市町村合併 20 周年の年であり、秋には式典が開催され、これまでの市史が編纂され配布されると聞いています。そんな記念すべき年ではありますが、恵那市は人口減少が進み特に若年女性の減少が大きいとの推計に基づき、消滅可能都市にあげられるなど深刻な状況でもあります。

市ではこうした人口減少を見据え、将来都市構造をコンパクトにすることに着目した取り組みを始めております。昨年度から 3 ヶ年をかけて立地適正化計画を策定することとしており、私が所属する新政会においても、こうした動きを受けて富山市などの先進地への行政視察を 5 月に実施したところで、今後においては一般質問等を通じてその考え方を明らかにして行きたいと考えています。

第3回議会定例会の内容

5月30日	議会本会議（議案上程、採決）	条例の一部改正 5 件、その他 2 件、補正予算 1 件、請願 31 件の計 39 件が上程され、それぞれ所管の常任委員会へ付託されました。
6月6日	総務文教委員会	議案の 3 件が承認（所管部分承認 1 件）され、請願の 31 件が不採択とされました。
	市民福祉委員会	4 件が承認されました。（所管部分承認 1 件）
7日	経済建設委員会	3 件が承認されました。（所管部分承認 1 件）
20日	議会本会議（一般質問）	太田敦之、平林多津子、伊藤勝彦、佐々木透、町野道明の 6 名が登壇
21日	議会本会議（一般質問、追加議案上程）、総務文教・経済建設委員会	安藤直実、林貴光、猿渡南江の 3 名が登壇。 追加議案として、契約の締結 1 件、財産の取得 2 件、市道の認定廃止 2 件、補正予算 1 件が上程され、それぞれ常任委員会に付託、審議された結果、6 件とも承認されました。
28日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた 45 件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において議案 14 件が可決、請願 31 件が不採択となりました。また、議会発議にて議会個人情報保護条例施行規則の一部改正が上程され可決されました。 最後に「平林多津子議員に対する問責決議」が動議され可決されました。

議決内容（主なもの） ※請願以外はいずれも賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

条例の一部改正（5 件）

- ・介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例の一部を改正
- ・上記と同様に、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正
- ・下水道法施行令の一部改正に伴い、下水道条例の一部を改正
- ・公共下水道事業計画の変更に伴い、計画排水の区域面積及び排水人口等を改めるため条例の一部を改正
- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準において職員配置の改正がなされたことに伴い、条例の一部を改正

その他（2 件）

- ・財産の無償譲渡（飯地町内の消防団器具庫を飯地町地縁団体へ譲渡）
- ・岐阜県後期高齢者医療広域連合の事務規約の一部を変更

補正予算（1 件）

- 一般会計（補正額 9 億 7,494 万 2 千円）補正後 313 億 7,172 万 7 千円
- 緊急対応を要する事業 6 億 4,165 万 5 千円
 - ・住宅施策推進事業費 500 万円
 - ・先人顕彰拠点施設整備事業 6 億 3,088 万 4 千円ほか
- 補助金等を活用した事業 3 億 3,328 万 7 千円
 - ・予防接種事業費 9,717 万 4 千円
 - ・森林保全促進事業費 5,765 万 4 千円
 - ・道路維持管理事業費 1 億 5,890 万円ほか
- 財源の組替 5,707 万 7 千円
 - ・子育て支援基金からの繰り入れ 4,998 万 5 千円ほか

請願（31 件）

- ・恵那南地区中学校統合を白紙撤回する請願（同趣旨 3 件）
- ・岩田中学校を残す請願（同趣旨 28 件）

追加議案（6 件）

- ・東濃 5 市消防指令センター指令システム設置工事の契約締結
- ・消防ポンプ自動車の購入に関わる契約締結
- ・大型水槽車の購入に関わる契約締結
- ・市道山岡町 95 号線の廃止
- ・市道山岡町 281 号線及び山岡町 282 号線の認定
- ・一般会計補正予算（補正額 1 千万円）補正後 313 億 8,172 万 7 千円
リニア軌道沿線の井戸等の水位、水量の調査費用 1 千万円

議会発議（1 件）

- ・個人情報の保護に関する法律施行規則の改正に伴い、議会個人情報保護条例施行規則の一部を改正

議員動議（1 件）

- ・平林多津子議員に対する問責決議
平林多津子議員の請願に関する一連の言動が、議会運営に対する不信感をいだかせる極めて不適切なもので、請願に関しては特に慎重に扱わなければならないところ、多くの請願者に対して適切な対応がなされず議員としての資質をも疑うもので、このままでは議会の秩序や品位を損なうことになり恵那市議会として看過できないものとして、平林多津子議員に対し猛省を促すとともに、議員としての責任を強く問う問責決議が動議され可決されました。

※ 議員動議とは、議員が議案等の発議以外の形式で、予定以外の事項について議題を提案すること。

その他の議員活動（主なもの）

4月6日	消防まとい披露式及び祝賀会	5月3日	憲法と現代日本を考えるつどい	25日	自民党恵那支部役員総会
7日	中将姫誓願桜植樹式	7日	議会だより編集会議	28日	恵南自衛隊友の会総会
8日	岩村こども園入園式	9日	第2回臨時議会（定額減税関連）	30日	恵那市観光協会理事会
9日	小中学校入学式		観光まちづくり意見交換会	6月1日	瑞浪恵那道路整備促進協議会定期総会
13日	孔子祭	10日	岩村地域自治区運営協議会	5日	警察友の会、防衛協会総会
16日	広域行政推進協議会政策会議	14~16日	新政会行政視察（北陸方面）		観光協会岩村支部総会
18日	観光協会岩村支部役員会	17日	土地開発公社理事会	9日	恵那市消防操法大会
19日	岩村町自治連合会	18日	次米お田植え祭	12日	自民党岩村支部役員会
23日	議会運営委員会、全員協議会	21日	議会運営委員会、全員協議会	14日	議会運営委員会、全員協議会
25日	恵那土木、農林事務所情報提供会		議会だより編集会議		議会だより編集会議
26日	岩村城再建構想実行委員会	23日	まちづくり懇談会	15日	少年の主張大会
	城下町ホットいわむら定期総会	24日	議会運営委員会	16日	飯羽間財産区総会
30日	議会運営委員会、全員協議会	25日	自民党岐阜県連定期大会	19日	岩村地域自治区運営協議会

一般質問

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会のみで行われています。今回の定例会では、一般質問は行いませんでした。

旧振興事務所の改修内容(先人顕彰拠点整備事業 補正予算額 6 億 3,088 万 4 千円)

□これまでの経過

- 平成 27 年度 コミセンを旧振興事務所に統合する予算が計上されたが、予算不足により実行のめどがたたず不執行とされた。
- 平成 28 年度 再度、予算が精査され計上されたが、行財政改革の観点等で附帯決議がなされ、結果、執行されなかった。
- 平成 29 年度 附帯決議により地域で検討委員会が組織され再検討した結果、白紙に戻すこととされた。
- 令和 2 年度 地域自治区で再検討がなされた結果、「歴史・文化を生かした拠点施設」としての整備要望が市に提出された。
- 令和 3 年度 地域からの提言を受けて、調査費が予算化され検討が進められた。
- 令和 4 年度 先人顕彰施設を中心とした基本設計が予算化され、併せて運営方法等について地域で検討が進められた。
- 令和 5 年度 実施設計が予算化され、運営主体候補団体との間で設計が進められた。

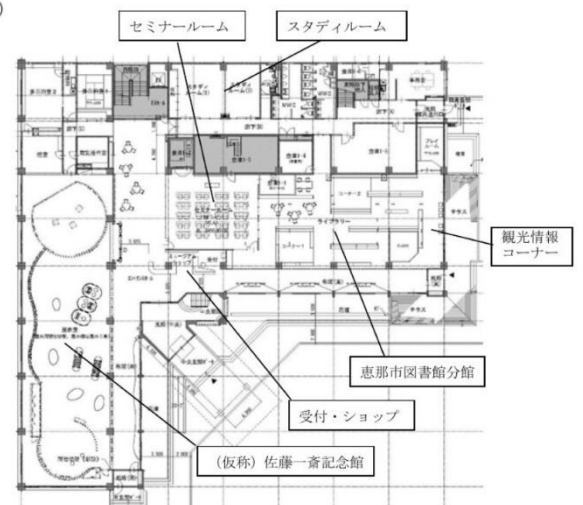
□整備計画の概要

令和 7 年 10 月オープンを目指して工事が実施されます！

- 1 階は、(仮称)佐藤一斎記念館、恵那市中央図書館分館、観光情報コーナーなどです。
- 2 階は、(仮称)恵那市歴史資料館として本年度から検討が開始され、令和 10 年度のオープンを目指します。(岩村歴史資料館はここに移設されます。)



(平面図)
1 階



恵那南地区中学校の統合について

岩村地域では「岩村中学校を残す会」が発足し、6 月議会においては多くの方から要望や請願が寄せられました。請願については、議会で審議されましたが、いずれも不採択という結果でした。

審議の中では、教育委員会で統合の方針が決定、議会ではその実現のための設計等の予算が既に議決され進められている中での計画の見直しや、「岩村中学校を残して」などの請願は聞き入れることはできないとの理由が主なものでした。教育委員会へも同様な内容の請願が提出され不採択とされており、令和 8 年 4 月開校を目指し残り少ない期間となっているこの時期においては、新しい学校づくりに向けて建設的な意見の集約がなされることに期待したいと思います。

また、学校統合に関しては、私が現役の市役所職員時代から関りがあり、自分なりの考えをここで示しておきたいと思います。

平成 27 年当時、最初に検討委員会からの答申を受けたときは、新設 1 校で山岡地域に統合とういことは事業費的にも軽く 30 億以上は必要となることから段階的な統合の方が合理的で、財政的な負担も少なく済むのではといった考えを抱いたことを記憶しています。

そこから市役所内部で検討を進める中で、学校統合に関しては文部科学省の学校統合に関わる指針に規定する適正規模を目指すべきとの考え方への理解が深まるなかで、検討委員会からの答申である「一校統合」は、あらためて合理的な考え方であると感じました。

教育論を語り始めると結論のでない話となりますので、私たちのような責任のある立場の者は、国の定める基準にできる限り近づける教育環境を整えることが特に重要であると考えています。

懸念される学力の低下(恵那市ホームページから)



学校規模と学力テストの結果について特に関係性はないとの見解が一般的ですが、令和 3 年の総合教育会議(年に一回以上、教育委員会と市長との間での意見交換する場)において、教育長から小規模校が多い当市では、教員の確保が極めて難しい状況にあるとの発言があったことから、統合により教員確保を容易としながら、教員のやりがいのある学校にすることも重要であると考えています。

(目指す姿)

学校統合は適正規模(12~18 学級)に近い教育環境を目指すべき！

(条件)

交通手段確保により通学時間がおおむね 1 時間以内

(結果)

通学時間から 1 時間以内で実現できるのは、山岡地域しかない。
広範囲の統合は道路交通網の整備により可能な時代でありやむを得ない。

(効果)

中学生時代の仲間は生涯の友にもなり、統合中学校を卒業していく子ども達は、「恵那地域は自分達の地域」としての意識が醸成され次世代のまちづくりの担い手の育成につながる。(恵那北中学校がその例である。)

議会を終えて

今回の定例会は、上記でもふれたように、補正額の約 3 分の 2 を占める旧岩村振興事務所の整備に関わるものや、請願では「岩村中学校を残して」といった同趣旨のものが 28 件と多く、岩村に関するものが主なものであったと感じています。

旧岩村振興事務所の整備については、これまでの経過を簡単にまとめ記載しましたが、これまで紆余曲折があり多くの時間をついやし、ようやくここまで来られたといった感想を抱いていますが、これまで関りのあった地域の関係者の皆様にはあらためて感謝申し上げます。また、学校統合については、地域の意見を聞いて進めることは当然のことではありますが、これまであまりにも時間をかけ過ぎてきたことが昨今の混乱の一つの原因とも感じています。それぞれの地域の事情を捨て、一校統合に意見集約された恵那南地区中学校再編委員会等の答申は崇高な理念に基づいたものであったと私は考えています。

市長がコメントされているように、この統合に関する考えは変わることはないと言明されていますので、残りわずかとなったこの時期においては、よりよい学校となるよう関係者の熱意を一校統合に結集すべきであると考えますので、ご理解、ご協力をお願いします。

次号は、9 月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。